

Kyoto Institute for
Regional Prospects
KIRP

NEWS LETTER



ACTRポケットセミナー

連携協力包括協定市町村との懇談会を開催



▲連携協力包括協定市町村等の懇談会の様子



ACTRポケットセミナーの様子

去る10月5日に、地域連携・協働フォーラム「ACTRポケットセミナー」「連携協力包括協定市町村等の懇談会」を開催しました。本学では、府内各地で本学教員が自治体、NPO、経済団体などと連携して、地域課題解決に向けた地域貢献型特別研究（ACTR）に取り組んでいます。「ACTRポケットセミナー」では、京都学・歴史館小ホールにて、平成28年度のACTRから下記5件の報告を行いました。会場満席の約100名の参加者からは「ACTRについて全く知らなかったのが興味深かった」「地域と手をたずさえて大変おもしろいと思った」などの意見があり、熱心に聴講いただきました。

続いて、稲盛記念会館にて、連携協力包括協定を結んでいる市町を中心にご参加いただき、学長や副学長も交えて、「連携協力包括協定市町村等の懇談会」を開催しました。”自治体と大学の連携による地域課題の調査研究””自治体職員の人材育成””産学連携活動”をテーマに、ワークショップ形式で活発な意見交換が行われました。

また、10月2日～31日には、京都学・歴史館京都学ラウンジにて、平成28年度ACTRの研究成果をポスターで展示しました。

KIRPについて

京都地域未来創造センター（KIRP）は、京都府立大学の「知」を活かし、地域の未来を創るための拠点として発足した地域に向けた総合窓口です。協働研究、受託研究等に関するご質問、ご相談があればお気軽にお問い合わせください。

Tel & Fax : 075-703-5319
mail : kirpinfo@kpu.ac.jp
HP : <http://www.kpu.ac.jp/>

〒606-8522
京都市左京区下鴨半木町1-5

京都府立大学内教養教育共同化施設
「稲盛記念会館」1階

京都府立大学
京都地域未来創造センター
(KIRP)



「ACTRポケットセミナー」内容

タイトル	講師	
資源ごみ収集時における課題の分析と住民主体の解決事例	公共政策学部	勝山 享
丹波黒大豆の規格外品における利用方法の検討	生命環境科学研究科	松井 元子
”まるごとコウソクカレンダー”の意味すること	生命環境科学研究科	細矢 憲
京料理の形成	京都和食文化研究センター	上田 純一
精華町における溶いもを利用した地方創生の取り組み	生命環境科学研究科	伊達 修一
	精華町産業振興課	塚田 寛

第4回KIRPセミナーのご案内

景観の保全と地域づくり

～持続可能な営みの変化を示す景観計画をめざして～

平成30年2月5日(月) 15:00～17:30

場所 京都府立大学下鴨キャンパス内 教室

講師 小浦 久子 氏 (神戸芸術工科大学 環境デザイン学科 教授)
実践報告者 名本 史織 氏 (高知県四万十市環境生活課 四万十川・環境係 係長)
川村 慎也 氏 (高知県四万十市教育委員会 生涯学習課 社会教育振興係 主幹)
コーディネーター
上杉 和央 (京都府立大学文学部 准教授)

大事な景観を守り、活かすなかで地域づくりを。現在、こうした取り組みが全国の自治体で進められています。ただ、景観保全と地域づくりを結び付けていくために、こういった制度をどのように運用していけばいいのか、試行錯誤が続いているのではないのでしょうか。

本セミナーでは、試行錯誤の先進地、高知県四万十市の事例を中心に、景観保全と地域づくりの関係を考えることで、景観行政、地域づくり行政、文化財行政など、幅広い行政施策に関するヒントを探っていきたいと思っております。

受託研究

京都市市町村職員の海外視察研修を実施

報告



10月10日から10月21日の12日間、(財)京都市市町村振興協会「海外行政調査研究プログラム」として、アメリカへの海外視察研修を実施しました。当センターの青山統括マネージャーが講師をつとめ、府内の市町職員12名は、アメリカ東海岸のニューヨーク、ボルチモア、ボストンの3都市におけるエリアマネジメント、都市開発、環境・景観保全、防災・危機管理、広域連携等の幅広い分野で活躍する地方自治体や官民連携組織、NPO、大学などを訪問し、それぞれの特徴的な取組を調査研究しました。

参加職員にとっては、特徴的な先進事例を学び、今後の施策づくりや課題解決のヒントが得られただけでなく、それぞれの訪問先で対応いただいた担当者に女性が多いことや災害ボランティアから行政職員に転身した例をはじめ、終身雇用には囚われないキャリアパスの柔軟性など、日本の行政機関との違いに驚きつつ、また、担当者の様々な課題に対して常に前向きな打開策を検討する姿勢、ボランティア精神に基づく住民の参加意欲、意識の高さなど、現地で調査しないと感じられない印象や感覚を感じ取ることが出来たことが大きかったようで、国や地方自治の仕組み、背景等は異なっても今回の研修で得たことが、今後の職務や組織文化の変革に向けて大いに活かされていくことが期待できる研修となりました。(勝山)



グランドセントラル・パートナーシップの皆さんと

産学連携リエゾンオフィスだより

精華サテライトオフィスの動きについて

報告



本年4月の産学連携リエゾンオフィス開設に合わせて精華キャンパスにサテライトオフィスを設置しました。精華サテライトオフィスは、精華キャンパス教員の産学連携を支援する役割を担っておりますが、「けいはんな学研都市」などの京都府南部エリアを中心とした企業や研究機関と本学をつなぐ役割も担っています。



リエゾンオフィスでは、精華キャンパス教員との連携会議・ヒアリングを経て、「精華キャンパス版シーズ集」を作成し、8月には東京ビッグサイトで開催された「イノベーション・ジャパン2017」で、全学版のシーズ集と合わせて配布しました。また、10月にけいはんなプラザで開催された「けいはんなビジネスメッセ」でも、精華キャンパスから出展された桂瓜の奈良漬やダチョウ抗体を使用した新製品などの産学連携の取組を紹介したとともに、シーズ集を配布し、精華キャンパスでの研究成果を広く発信しました。9月には、新たに精華キャンパス担当のコーディネータを1名配置しました。現在、精華キャンパスのシーズ把握と関連企業のニーズ調査を行っているところです。

こうした中、学研都市との連携の1つとして、「けいはんなリサーチコンプレックス」へ大学として参画することになりました。これは40近くの企業や大学等とともに、異分野融合研究開発を目指すものです。

以上、「けいはんな学研都市」での新たな動きなどについて報告いたしましたが、引き続き、精華キャンパスのみならず、本学全体の研究成果の社会への還元に向けて一層の努力を続けてまいりますので、よろしくお願いいたします。

産学連携リエゾンオフィス 所長 田中和博

KIRP学生部会の活動

報告



学生部会「かごら」

京都地域未来創造センター学生部会「かごら」は、月に1回地域に向けて実施するコミュニティカフェ「かごらカフェ」の開催を中心に、地域と大学をつなぐ架け橋となる活動を展開しています。

9月20日、京都府内の公立大学の学生による地域連携活動の情報共有や意見交換を行うため、「かごら」のメンバー8名が福知山公立大学を訪れ、福知山公立大学の学生プロジェクトメンバー、ボランティアサークル「GAC」等の学生8名と意見を交わしました。杉岡特任准教授の進行のもと各大学の活動を紹介する中で「活動経費は?」「かごらカフェの参加者層は?」など、情報交換を行った後、学食でのランチ懇親会、市内見学会を実施。他大学学生と交流は、活動ノウハウの共有や刺激を受ける有意義な機会となりました。



意見交換会の様子

学生ラジオ部会

京都地域未来創造センター学生ラジオ部会では、ラジオ番組「KPUKPUラジオ(かぶらじ)」の放送を通じて、学生目線で、京都府立大学や地域のホットな話題を発信しています。第1回目放送(9/22)「かぶらじがはじまるよ!」では本学築山学長をゲストに迎え、第2回放送(10/27)「流木祭の魅力をたっぷりお届け!」では本学の学園祭の魅力に迫りました。毎月第4金曜日22:00~FM79.7MHz京都三条ラジオカフェから放送中。放送音源は府立大学ホームページにも掲載しています。



第1回放送収録の様子